

様式第1号（条例第3条、第3条の3、第3条の4、第4条、第7条、第7条の2、第8条の2、第9条の2、第10条、第10条の2関係）

① 炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー
給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備
ヒートポンプ冷暖房機
火花を生ずる設備・放電加工機

設置届出書

② 年 月 日					
③ 様					
届 出 者					
住 所 ④					
(電話 ー)					
氏 名					
防 火 対象物	所在地	⑥ 電話 ー			
	名 称	⑦		主要用途 ⑤	
設 置 場 所	用 途	⑧	床面積	⑨ m ²	消防用設備等又は 特殊消防用設備等 ⑩
	構 造	⑪	階 層	⑫	
届 出 設 備	設 備 の 種 類	⑬			
	着工（予定）年月日	⑭ 年 月 日	竣工（予定）年月日	⑮ 年 月 日	
	設 備 の 概 要	⑯			
	使 用 す る 燃 料 ・ 熱 源 ・ 加 工 液	種 類		使 用 量	
		⑰		⑱	
	安 全 装 置	⑲			
取 扱 責 任 者 の 職 氏 名		⑳			
工 事 施 工 者	住 所	㉑ 電話 ー			
	氏 名	㉒			
※ 受 付 欄			※ 経 過 欄		

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。
2 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
3 階層欄には、屋外に設置する設備にあっては、「屋外」と記入すること。
4 設備の種類欄には、鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入すること。
5 設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
6 火花を生ずる設備及び放電加工機以外の設備にあっては、使用量欄には1時間当たりの入力を記入すること。この際、電気を熱源とする設備にあっては1キロワットを860キロカロリーに換算すること。
7 ※印の欄は、記入しないこと。
8 当該設備の設計図書を添付すること。

【記入要領】

項目	記入内容
① 炉・・・設置届出書	「炉・厨房設備・温風暖房機・・・」のうち、該当するものに○を記入します。
② 年月日	届出書の提出年月日を記入します。
③ あて先	あて先の記入は不要です。消防署で受付時に押印させていただきます。
④ 届出者	設備を設置しようとする者の住所・氏名を記入（法人の場合は所在地・名称及び代表者の職・氏名を記入）します。押印は不要です。
⑤ 所在地	建物の住所を記載します。
⑥ 名称	建物の名称を記載します。
⑦ 主要用途	建物の用途を記載します。
⑧ 用途	設置する場所の用途を記載します。【例】ボイラー室、倉庫、厨房
⑨ 床面積	設置する設備の据え付け面積を記載します。
⑩ 構造	設置する場所の構造を記載します。【例】RC造、S造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造
⑪ 階層	設置する場所の階層を記載します。屋外に設置する場合は、屋外と記入して下さい。
⑫ 消防用設備等	設置する消防用設備等を記載します。
⑬ 設備の種類	設置する設備の種類を記載します。
⑭ 着工年月日	着工する年月日を記載します。
⑮ 竣工年月日	竣工する年月日を記載します。
⑯ 設備の概要	設置する設備の概要を記載します。書き込めない事項は、別紙に記載して添付してください。
⑰ 燃料の種類	設置する設備に使用する燃料の種類を記載します。
⑱ 燃料の使用量	火花を生ずる設備及び放電加工機以外の設備にあつては、入力量を記載してください。入力量は下記の換算表で換算し Kw で記載してください。
⑲ 安全装置	設置する設備の安全装置の概要を記載してください。
⑳ 責任者の職氏名	設置する設備を取り扱う責任者の職、氏名、連絡先を記載してください。
21 工事施工者住所	設置する設備を施工した者の住所、連絡先を記載してください。 法人にあつては法人の住所を記載してください。
22 工事施工者氏名	設置する設備を施工した者の氏名を記載してください。 法人にあつては法人の名称及び代表者の職、氏名を記載してください。

当該設備の設置場所図面、設計図書を添付してください。

設備	換算式	
電気設備	入力量 (Kw) = 電力消費量 (Kw/h)	
気体燃料	入力量 (Kw) = 燃料の低発熱量 (MJ/kg) × 燃料消費量 (kg/h) × 1/3.6	
	燃料名	低発熱量 (MJ/kg)
	プロパンガス	50.2
液体燃料	入力量 (Kw) = 燃料の低発熱量 (MJ/l) × 燃料消費量 (l/h) × 1/3.6	
	燃料名	
	灯油	
	軽油	
	重油	A 重油
		B 重油
		C 重油

様式第1号（条例第3条、第3条の3、第3条の4、第4条、第7条、第7条の2、第8条の2、第9条の2、第10条、第10条の2関係）

【記入例】

炉・厨房設備・温風暖房機・**ボイラー**
給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備
ヒートポンプ冷暖房機
火花を生ずる設備・放電加工機

設置届出書

〇〇年〇〇月〇〇日						
様						
届出者						
住所 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 (電話〇〇-〇〇〇〇)						
氏名 〇〇 〇〇						
防火対象物	所在地	〇〇市〇〇町〇〇番			電話 〇〇-〇〇〇〇	
	名称	〇〇〇〇工場			主要用途 工場	
設置場所	用途	ボイラー室	床面積	〇〇.〇㎡	消防用設備等又は 特殊消防用設備等	消火器
	構造	鉄骨造	階層	1階		
届出設備	設備の種類	小型貫流蒸気ボイラー				
	着工（予定）年月日	〇〇年〇月〇日	竣工（予定）年月日	〇〇年〇月〇日		
	設備の概要	小型貫流蒸気ボイラー 〇〇製 型式〇〇番				
	使用する燃料・熱源・加工液	種類	灯油		使用量	〇〇〇kw
	安全装置	自動停止装置				
取扱責任者の職氏名		〇〇 〇〇				
工事施工者	住所	〇〇市〇〇町〇〇番地			電話 〇〇-〇〇〇〇	
	氏名	〇〇 〇〇				
※ 受付欄				※ 経過欄		

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。
 - 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 階層欄には、屋外に設置する設備にあっては、「屋外」と記入すること。
 - 設備の種類欄には、鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入すること。
 - 設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
 - 火花を生ずる設備及び放電加工機以外の設備にあっては、使用量欄には1時間当たりの入力を記入すること。この際、電気を熱源とする設備にあっては1キロワットを860キロカロリーに換算すること。
 - ※印の欄は、記入しないこと。
 - 当該設備の設計図書を添付すること。